



アマミノクロウサギ  
農作物被害対策マニュアル  
(第2版)



令和8年3月

アマミノクロウサギ対策会議  
鹿児島県大島支庁農政普及課  
奄美群島農政推進協議会

## はじめに

野生鳥獣は、自然環境における重要な構成要素のひとつであり、国民の豊かな生活に欠かすことのできない役割を果たしています。

アマミノクロウサギもその一種で、奄美大島・徳之島の固有種として、大正 10 年に国の天然記念物、昭和 38 年に国の特別天然記念物、平成 16 年には国内希少野生動植物種に指定されています。

一方で、鳥獣による農業への被害は深刻な状況であり、鹿児島県における令和 6 年度の野生鳥獣による農作物被害額は、540,218 千円と依然として高い水準にあります。

そのうち、アマミノクロウサギによる農作物被害については、平成 29 年度から報告があり、令和 6 年度の被害額は 10,356 千円で、特にタンカンやさとうきびが被害を受けております。

このような状況を踏まえ、大島支庁では、平成 29 年度に環境省、鹿児島大学、市町村、県の関係課・室で構成する「アマミノクロウサギ対策会議」を設立し、令和 4 年 3 月に「アマミノクロウサギ農作物被害対策マニュアル」を、令和 7 年 3 月に簡易版マニュアルを策定し、その内容の周知に取り組んできております。

今回、生息状況や農作物被害状況、被害対策に係る新たな知見等を盛り込んだ改訂版マニュアルを作成しました。本マニュアルが、奄美大島及び徳之島における、農業とアマミノクロウサギの共生につながるための一助となれば幸いです。

アマミノクロウサギ対策会議

鹿児島県大島支庁農林水産部農政普及課長 中 実

## 目 次

1	アマミノクロウサギの基礎知識	1
2	アマミノクロウサギの生息状況	3
3	アマミノクロウサギによる農作物被害	5
4	アマミノクロウサギの運動能力	7
5	被害対策	
	(1) アマミノクロウサギ専用侵入防止柵	10
	(2) 電気柵	16
	(3) その他の対策	19
	(4) 柵内のアマミノクロウサギへの対応について	20
	(5) アマミノクロウサギ農作物被害対策に 活用できる主な事業	21

マニュアルへ掲載している二次元コードから、アマミノクロウサギによる食害や、侵入防止対策等の動画をご覧ください。

## 1 アミノクロウサギの基礎知識

### (1) 個体の特徴



分類：ウサギ目，ウサギ科  
アミノクロウサギ属  
生息場所：奄美大島，徳之島  
体重：2～2.5 kg（成獣）  
頭胴長：40～50 cm（成獣）  
体の特徴：  
全身が黒～黒褐色の毛で覆われている。耳や肢は他のウサギと比べて短く，鋭く頑丈な爪を持つ。

### (2) 行動の特徴

アミノクロウサギは夜行性で，昼は林内の巣穴や岩穴の中で休み，日暮れとともに活動を始めます。巣穴は傾斜地や畑の中に作られ，入口は直径約10cm（子育て用）～25cm（成獣用）程です。単独生活で，行動圏は約1 ha と非常に狭く，頑丈な爪で同じ場所を何度も通るため，林内には獣道がつきます。開けた場所で採餌や排せつをする習性があり，河川敷や道路，畑の中などで糞が多く見つかります。

1年を通して繁殖可能ですが，秋から冬にかけて最も多くなります。約1か月の妊娠後，親の巣とは別の場所に作られた，子育て用の巣穴で出産し，母親は2日に1回授乳に訪れます。授乳時以外は，巣穴の入口を土で塞ぐのも特徴で，授乳は約1か月続きます。巣穴から出た後もしばらくは親子で一緒に行動するのが確認されています。

### (3) 食性の特徴

主にシダや草，木の葉を食べますが，特定の種類の植物に限らず，様々な種類の植物を食べています。

また，葉以外にも茎や樹皮，秋から冬にかけてはシイの実なども食べています。

植物食の動物は，消化器が植物を消化しやすいようにできていますが，ウサギの場合は盲腸が発達しており，盲腸便を食べることで栄養を取っています。

#### (4) アマミノクロウサギの保護について

アマミノクロウサギは文化財保護法による国の特別天然記念物、種の保存法による国内希少野生動植物種に指定されており、どちらの法律によっても、捕獲や殺傷が禁じられています。

##### ア 文化財保護法による保護 ～特別天然記念物～

「天然記念物」とは、国の文化財保護制度の類型のひとつで、学術上貴重でわが国の自然を記念するものとして指定された動物、植物、地質・鉱物及び天然保護区域からなります。天然記念物の中で特に重要なものが「特別天然記念物」で、文化財のレベルとしては「国宝」に並び、非常に価値の高いものです。

アマミノクロウサギは特別天然記念物として「地域を定めない」指定を受けており、日本国内のどこであっても保護の対象となります。そのため、捕獲するなど現状を変更したり、エサ場や巣穴を破壊するなど保存に影響を及ぼす行為を行ったりする場合、文化庁長官の許可が必要となります。許可を受けずに現状変更等を行った場合は、処罰されることがあります。

なお、アマミノクロウサギが交通事故や狩猟用ワナでの混獲などによりケガをしており、その保護のために、すぐに治療を行う必要がある場合などは、文化庁長官の許可を受けずに、一時的に捕獲し、治療可能な施設へ移動させることができます。

##### イ 種の保存法による保護 ～国内希少野生動植物種～

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(種の保存法)では、国内に生息・生育する、又は、外国産の希少な野生生物を保全するために必要な措置を定めています。

国内に生息・生育する希少野生生物については、レッドリストに掲載されている絶滅のおそれのある種(絶滅危惧Ⅰ類、Ⅱ類)のうち、人為の影響により生息・生育状況に支障をきたしているものの中から、国内希少野生動植物種を指定し、個体の取り扱い規制、生息地の保護、保護増殖事業の実施など保全のために必要な措置を講じています。

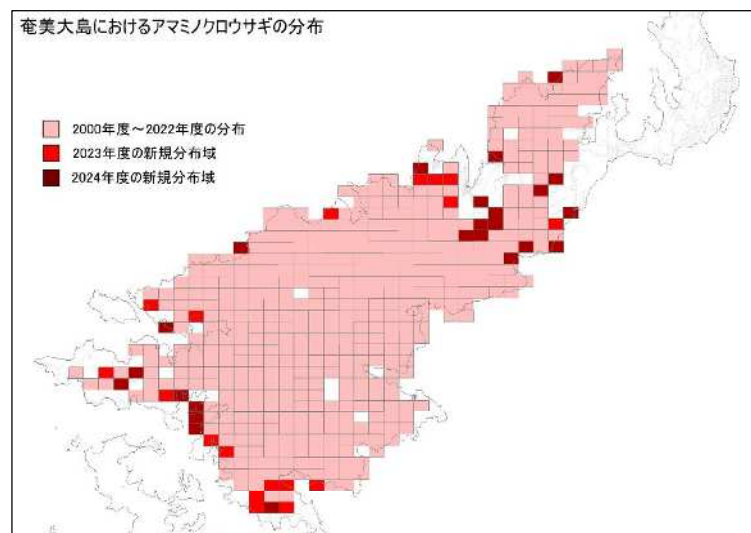
国内希少野生動植物種については、販売・頒布目的の陳列・広告、譲渡、捕獲・採取、殺傷・損傷、輸出入等が原則として禁止されています。学術目的等で捕獲を行う場合は環境大臣の許可が必要になります。

## 2 アマミノクロウサギの生息状況

### (1) 奄美大島の生息状況

奄美大島における生息数は、令和3年時点で10,024～34,427（中央値：19,558）頭と推定されており、森林の回復や外来種のフイリマングース、ノネコ対策によって年々増加傾向にあります。

笠利地域を除く森林域に生息しており、山間部から海岸域まで広く分布しています。特に中南部が多く、奄美市住用町は最も生息密度が高く、大和村西部は密度が高く個体数が増加している地域です。奄美市名瀬周辺や龍郷町中心部、太平洋側は、他地域と比較すると少ないですが、増加傾向にあります。



令和6年度までに確認されたアマミノクロウサギの生息メッシュ（奄美大島）

### (2) 徳之島の生息状況

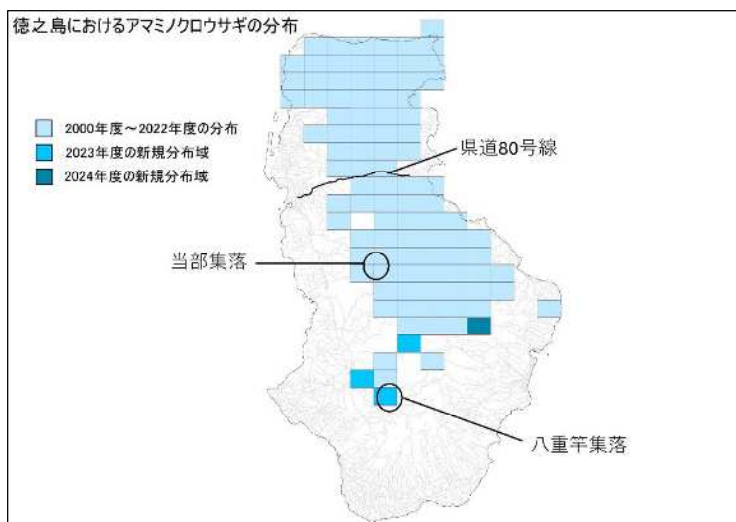
徳之島における生息数は、令和3年時点で1,525～4,735（中央値：2,824）頭と推定されており、森林の回復や生態系保全のためのノネコ対策の成果もあり、年々増加傾向にあります。

主に、天城岳を中心とした北部と、井之川岳を中心とした中部に分布しており、北部と中部は県道80号線で分断されていると考えられます。

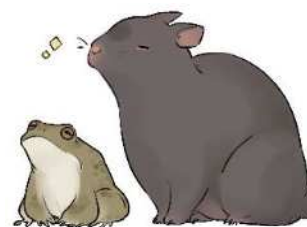
北部は生息密度が高く、県道629号線や618号線ではアマミノクロウサギのロードキルが多発しています。

中部は、北部に比べて生息密度は低いですが、天城町当部集落のように非常に密度が高い地域もあります。

犬田布岳山頂でも令和4年以降継続的に確認されており、令和5年には南側の麓（伊仙町八重竿集落）でも確認されました。令和7年時点で八重竿集落以南では確認されていません。

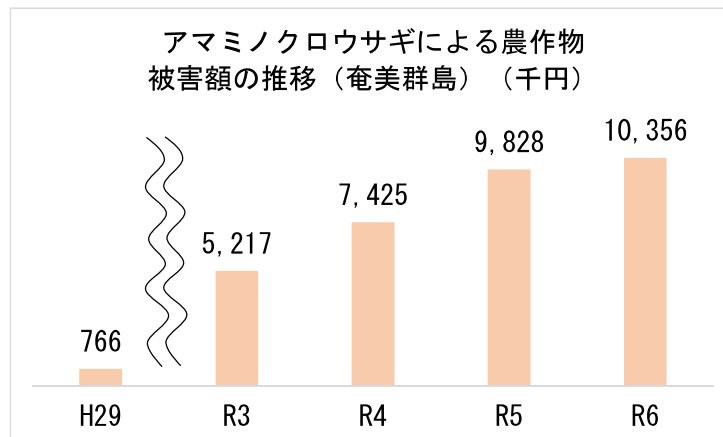


令和6年度までに確認されたアマミノクロウサギの生息メッシュ（徳之島）



### 3 アマミノクロウサギによる農作物被害

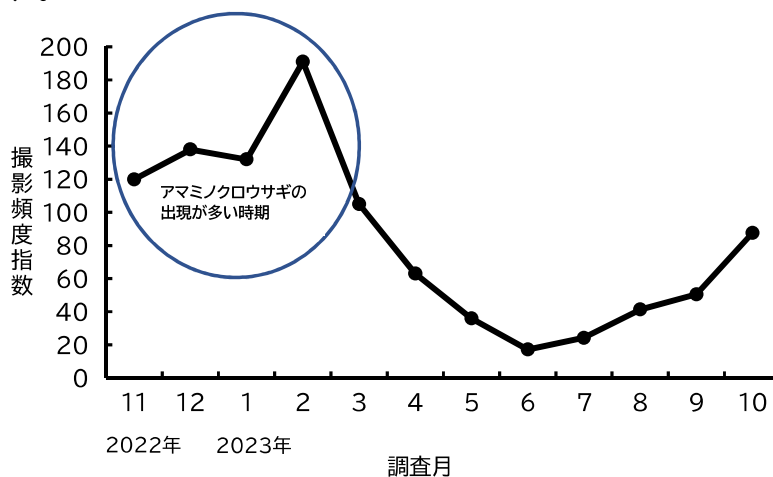
毎年農林水産省が実施している「野生鳥獣による農作物の被害状況調査」では、平成 29 年度からアマミノクロウサギによる農作物被害が報告されています。被害額は増加傾向にあり、果樹（タンカン等）や工芸作物（さとうきび）等への被害が報告されています。



下の図は徳之島のタンカン園にセンサーカメラを設置し、アマミノクロウサギの出現の季節変化を調べたものです。

年間を通じて、アマミノクロウサギの出現が確認されましたが、特に11～2月に多く出現していることが分かります。そして、この時期にはタンカンの葉や樹皮の食害が多発します。

一方、さとうきび畑では年間を通じて葉や茎を採食することが分かっています。



タンカン園におけるアマミノクロウサギの出現の季節変化（徳之島町）

撮影頻度指数 = (アマミノクロウサギの撮影回数 / カメラ稼働日数) × 100 日

【被害の状況】  
タンカン被害



食害を受けたタンカンの幹



さとうきび被害



食害を受けたさとうきび



## 4 アマミノクロウサギの運動能力

アマミノクロウサギは、跳ぶ能力、よじ登る能力、隙間を通り抜ける能力に長けており、タンカンやさとうきび等への被害が発生しています。

農作物被害を防ぐためには、運動能力を知り、能力に合わせた対策を行うことが大切です。



タンカン幼木に巻いた肥料袋に肢をかけて樹皮をかじる様子

### (1) 跳躍・よじ登り

跳躍力テストの結果、高さ 50cm の柵の場合、上部へ跳び乗り反対側へ降りていきましたが、75cm 以上の場合、跳び越えることはできませんでした。



75cm

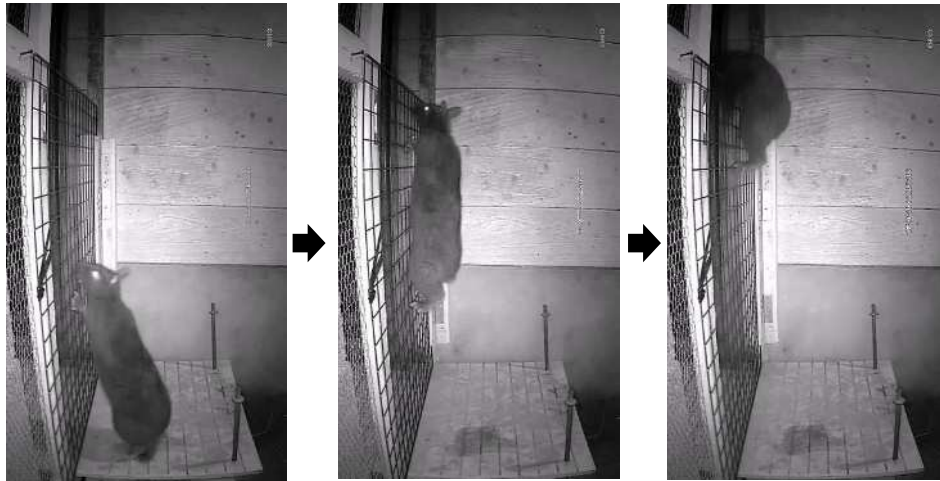


100cm

高さ 75cm 以上の柵は跳び越えることができない

また、柵に足場がある場合、幅4～5cmの網目をつかむのではなく、前肢を乗せて器用に柵をよじ登っていきましました。

この行動から金網柵とワイヤーメッシュ柵の設置にあたっては、“柵の上部を折り返す”などよじ登り対策を講じる必要性があると分かりました。



器用に柵をよじ登るアマミノクロウサギ（柵の高さは90 cm）



幅4 cmの網目に肢先をのせた様子



跳躍力テストの様子

## (2) 潜り抜け・隙間からの侵入

アマミノクロウサギは、イノシシ対策用の金網柵（網目のサイズ：縦9 cm×横15 cm）を通り抜けることが確認されています。また、室内実験でも、8 cm×8 cmの隙間を通り抜けることが確認されています。

この行動から、金網柵やワイヤーメッシュ柵を設置した際に、“柵の基部に生じた小さな隙間からアマミノクロウサギが潜り抜ける”可能性が考えられます。

また、アマミノクロウサギは穴掘りに適した強靱な爪を持っています。通り抜けできないサイズの隙間の土を前肢でかき出し、入口を広げ、潜り抜けることも十分に可能です。

このことから柵の設置にあたっては、“地際対策”の金網などを設置することが必要であると分かりました。



室内実験の様子



潜り抜けによる侵入に注意が必要

また、室内実験では、4 cm×4 cmの正方形、幅4 cmの長方形の隙間を通り抜けできないことが確認されています。

この結果から、アマミノクロウサギの侵入防止を目的とした金網柵とワイヤーメッシュ柵の目合いは1辺4 cmにする必要があると分かりました。



縦12 cm×横4 cmの隙間は  
通り抜けできない

## 5 被害対策

ここでは、アマミノクロウサギによる農作物被害の防止対策を紹介  
します。これまでタンカンほ場での対策が中心だったため、そこでの  
取組を中心に紹介しますが、他の作物でも応用可能です。

栽培する作物、ほ場の立地条件、予算などを勘案して、それぞれの  
ほ場に適した対策を選択してください。

### (1) アマミノクロウサギ専用侵入防止柵

金網柵やワイヤーメッシュ柵などを設置し、物理的に野生動物の  
侵入を防ぐものです。運動能力を踏まえ、次のような柵が考案されて  
います。

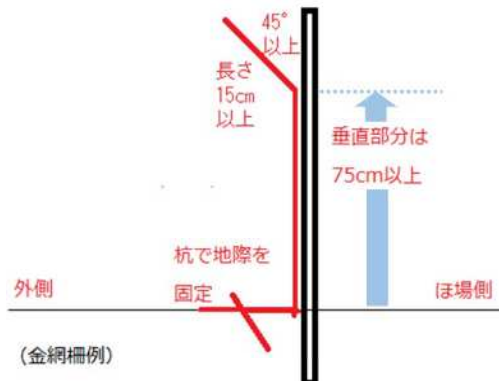
#### 【金網柵】

目合い：4 cm × 4 cm

高さ：100cm

柵の上部を15 cm折り返す

既存のイノシシ侵入防止柵と併用



#### 柵の上部の折り返し

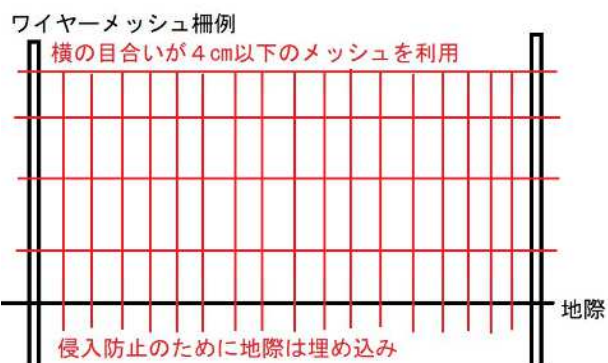
15 cmほど外に折り返すと、体を支えられず上手くよじ登ることができません。

## 【ワイヤーメッシュ柵】

目合い：4 cm × 20 cm

高さ：100cm

柵の下部を地中に差し込む



### 柵の網目が縦長

横幅4 cmだと通り抜けることができません。

また、縦の長さを20 cmにすることで肢を上手くかけることができず、よじ登ることができません。

ワイヤーメッシュ柵は上から叩いて、下部を地中に埋め込みますが、外からの掘り返しなどで隙間が生じることがあります。また、傾斜地での設置では、設置時に注意を払っても、時間が経つと下部に隙間が生じやすくなります。

柵の設置にあたっては、「地際対策」もセットで実施することで、侵入防止効果が高まります。



タンカン園に設置されたワイヤーメッシュ柵（大和村）

### 【ポリエチレン製ネット柵】

資材はホームセンターなどで購入でき、柵と比較し、安く設置することができます。

しかし、アマミノクロウサギにかじられると、簡単に破れてしまうため、長期的な使用には向きません。



サトウキビ畑での設置例：ネットが破かれ、侵入



## 設置にあたっての注意点

- 事前にほ場内を見て回り、アマミノクロウサギがいないか、繁殖していないか確認しましょう。



タンカン園内でみつけたフィールドサイン（左：糞，右：巣穴）

- 金網柵は、一度設置すると移動することができません。次のことを考慮して、設置することが大切です。
  - 出入口を複数設ける。
  - 設置後の柵の修繕や除草作業を考え、柵の周りに歩けるスペース（幅1m程度）を確保する。

- 隙間ができないように設置しましょう

運動能力（9ページ）で紹介したとおり、アマミノクロウサギは8cm×8cmの隙間を通り抜けることが確認されています。そのため、くぼ地や地際対策の金網が設置できない側溝沿いに隙間が生じないように注意しましょう。



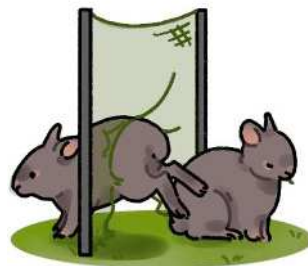
側溝沿いに生じた隙間



地際の隙間に金網を追加設置

## 設置後の管理も重要！

効果を持続させるためには、定期的なメンテナンスが不可欠です。



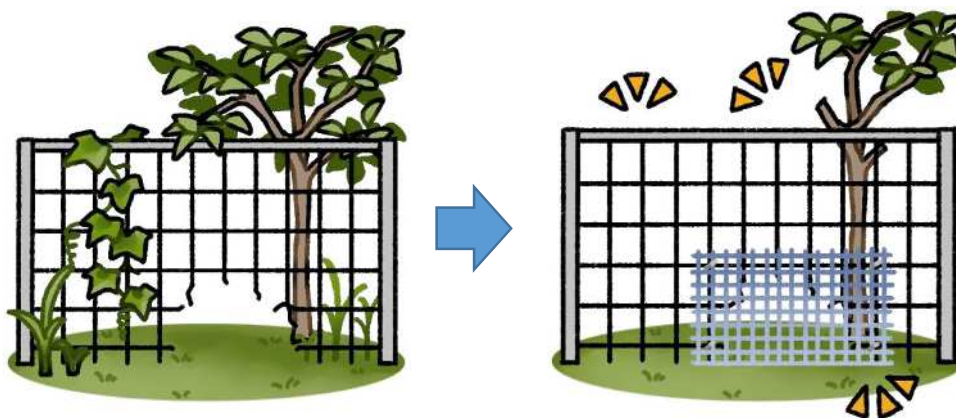
時間が経つと、柵の地際に隙間が生じ、侵入するリスクが高まります。



柵に絡みつく草や倒木も破損の原因になります。



- 定期的に柵に絡みつく草を取り除き、周辺の木々を管理し、地際の隙間を塞ぐことで柵が長持ちし、効果が保持されます。



## 奄美大島大和村で金網柵の設置が スタートしています（令和4年度～）

### アマミノクロウサギとイノシシの侵入を防止する金網柵

目合い：4 cm × 4 cm

高さ：150cm

地際補強：幅 30cm の金網を追加設置



#### 高さ 150cm

イノシシの跳び越えを防ぐことができます。

#### 地際対策をセットで実施

幅 30 cm の金網を地面に杭で固定することで、地際からの潜り込みを防止することができます。



#### 柵の上部を固定しない

折り返した場合と同様に“よじ登り”による侵入を防ぐ効果があります。

## (2) 電気柵

電気柵は、電線に触れた動物が感電し、嫌悪刺激となり、柵を忌避学習することで通り抜けを防止するものです。

正しく設置し、設置後も通電を維持することで、高い侵入防止効果を得ることができます。



### (仕様)

電線の高さ：10, 20, 30cm

支柱の設置：2～3m間隔

本器：ソーラーパネル付属の装置がお薦め

通電：4,000V以上のパルス電流を24時間連続で通電する



### 通電しやすい部位は『鼻先』

鼻先に触れるように、地上から10, 20, 30cmの高さに電線を張ると侵入を防止することができます。



電気柵の近くで草を食べる時も、柵を警戒し、一定の距離を保ち、侵入を試みることはほぼありません。

## 設置にあたっての注意点

### ● 本器とアースを正しく設置

間違った方法で設置すると、通電が不安定になったり、蓄電不足で夜間の電圧が低下したりすることがあります。

ソーラーパネルのついた本器を使用する場合は、影のない、日光が十分に当たる場所に設置します。また、間隔をあけてアース棒を設置することで、通電を安定させることができます。



ソーラーパネルを太陽光がしっかりと当たる方向へ向ける



アース棒を1つにまとめる(悪い例)

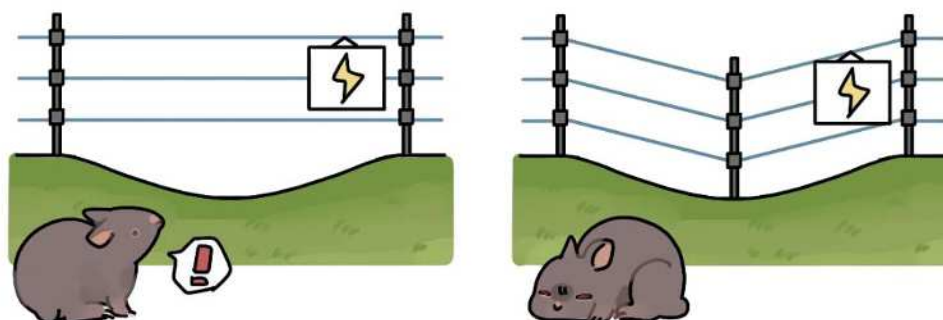


間隔をあけて、地中にしっかりと打ち込む(良い例)

### ● 隙間ができないように設置

アマミノクロウサギは小さな隙間を通り抜ける能力を持っているため、くぼ地の場合は注意が必要です。

くぼ地がある場合は、支柱を追加するなどして架線下に通り抜け可能な隙間が生じないように注意しましょう。



くぼ地に支柱を1本追加することで防ぐことができます

## 設置後の管理も重要！

### ● 通電状況を確認

通電チェッカーを使用し、定期的に電圧の測定と本器の蓄電状況を確認しましょう。

### ● 電線の下草を管理

電線に草が触れると電圧が下がります。

電圧の低下は“通り抜けによる侵入”を助長するきっかけとなるため、電気柵用（アース機能付き）防草シートの設置やナイロンコードなどを使った草刈りで電圧を4,000V以上に維持することが大切です。



正しく通電できていないと。。。

電線を通り抜け、侵入してしまいます。一度侵入してしまうと、再通電しても侵入を止めるのは難しくなります。



### 【事例】

本器が故障し、2か月程通電していない状態が続いたところ、通り抜けが確認されました。

本器を交換し、電線を通常より狭い、5cm間隔で設置しましたが、侵入は止まらず、幼木の採食被害が確認されたため、併用柵として、電気柵の内側にポリエチレン製ネット柵を設置しました。併用柵の侵入防止効果は抜群でしたが、広いほ場での設置は、労力や費用がかかるため、非常時の対策と考えましょう。



電気柵の内側に高さ60cmのポリエチレン製ネット柵を設置して侵入を防ぐ

### (3) その他の対策

#### 【幼木保護】

成木に比べ、幼木の採食被害によるダメージは大きく、時には枯死することがあります。一時的に成木や幼木の被害を防ぐ場合は、突起物やビニール資材で囲むのも有効な手段です。



徳之島町が樹幹保護のために設置を進めている突起シート



ビニールハウスの暖房で利用される  
“暖房ダクト”で幼木を囲む（大和村）

また、タンカンの樹皮を採食された場合は、傷口へ有機銅塗布剤（バッチレート）を塗布することで、病害を予防することができます。



採食痕を見つけたら、すぐに塗布することが  
大事（矢印：採食痕，白丸：塗布後の様子）

#### (4) 柵内のアマミノクロウサギへの対応について

柵を設置する際は、事前にほ場内にアマミノクロウサギがいないことを確認することが必要ですが、設置に数日かかったり、ほ場が広がったりすると確認することができず、柵の中に閉じ込めてしまう場合があります。

アマミノクロウサギを閉じ込めたままでは、農作物被害は収まらず、野生動物本来の生態を妨げるため、できるだけ早く柵の外に移動する必要があります。

##### ～対策①：柵の一時的な開放～

柵の設置面積が狭く一部開放できる場合、一時的に開放し、カメラ等で外に出るのを確認した後、柵を閉じる方法があります。柵を開放している期間が長いと再侵入されるため、注意が必要です。

##### ～対策②：ワンウェイゲートの設置～

柵の下部に、ワンウェイゲート（畑の中からしか通り抜けられない仕掛けのゲート）を設置することで、柵の外に移動させることができます。



- ・ 扉は重すぎると警戒して開けないため、丈夫かつ軽い素材にする
- ・ 土や草などで入口を囲い、自然な状態にする

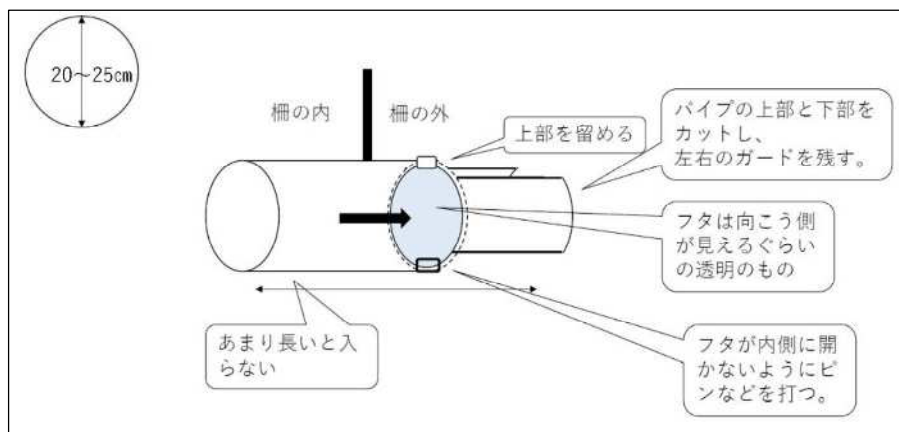


ほ場内から出ることはできますが・・・



外からは侵入できません

### 【ワンウェイゲートの構造】



### (5) アマミノクロウサギ農作物被害対策に活用できる主な事業

事業の活用等詳しくは、お近くの市町村へご相談ください。

令和8年3月時点

	事業名	事業概要
県	鳥獣被害対策実践事業 (鳥獣被害防止総合対策交付金)	市町村が作成する「被害防止計画」に基づく、地域ぐるみの取組や侵入防止柵の設置等に対して支援を行う。
大和村	鳥獣被害防止対策事業	村単独事業において村内にほ場を持つ園芸農家に対して、鳥獣被害対策用ワイヤーメッシュ柵の設置等を支援する。
徳之島町	園芸施設機械等補助事業	町在住かつ町内にほ場を持つ園芸農家が鳥獣被害対策資材の導入等行った場合、助成を行う。
	アマミノクロウサギ保護共生事業	タンカン農家へアマミノクロウサギによる食害対策用のネットを配布する。
天城町	有害鳥獣被害防止対策事業	町在住の農家又は町在住の農家管理のほ場を対象に、侵入防止ネット等の購入費用を一部助成する。

## 問合せ先

### ○ 農作物被害対策について

県：大島支庁農政普及課 TEL：0997-57-7333（直通）

各市町村農政担当課：

市町村名	所属名	連絡先
奄美市	農林水産課	0997-52-1157
大和村	産業振興課	0997-57-2153
宇検村	産業振興課	0997-67-2215
瀬戸内町	農林課	0997-71-1174
龍郷町	農林水産課	0997-69-4524
徳之島町	農林水産課	0997-82-1111
天城町	農政課	0997-85-5259
伊仙町	経済課	0997-86-3111

### ○ アマミノクロウサギの生態・生息状況について

環境省：

奄美大島（奄美野生生物保護センター） TEL：0997-55-8620

徳之島（徳之島管理官事務所） TEL：0997-85-2919

各市町村教育委員会：

市町村名	所属名	連絡先
奄美市	文化財課	0997-54-1210
大和村	事務局	0997-57-2154
宇検村	事務局	0997-67-2261
瀬戸内町	図書館・郷土館	0997-72-3799
龍郷町	事務局	0997-69-4532
徳之島町	社会教育課 （郷土資料館）	0997-82-2908
天城町	社会教育課 （ユイの館）	0997-85-4729
伊仙町	社会教育課 （歴史民俗資料館）	0997-86-4183



## アマミノクロウサギ対策会議構成機関

令和8年3月時点

構成機関	
環境省	奄美群島国立公園管理事務所 (奄美野生生物保護センター) 奄美群島国立公園管理事務所徳之島管理官事務所
鹿児島大学	国際島嶼教育研究センター
	農学部
奄美市	農林水産課
大和村	産業振興課
瀬戸内町	農林課
徳之島町	農林水産課
	おもてなし観光課
天城町	農政課
	企画財政課
伊仙町	経済課
	きゅらまち観光課
鹿児島県徳之島事務所	農業普及課
鹿児島県大島教育事務所	指導課
鹿児島県大島支庁	衛生・環境室
	農村整備課
	農政普及課





本マニュアル作成事業の一部に  
「あまみトロピカルアイランドWAON」  
の寄付金を活用しております。

本マニュアルに掲載された図、写真、映像など  
の無断での引用や複製はご遠慮ください。

—アマミノクロウサギ農作物被害対策マニュアル（第2版）—

令和8年3月発行

—非売品—

編集・発行

鹿児島大学

国際島嶼教育研究センター

農学部

環境省

鹿児島県大島支庁農政普及課

（奄美群島農政推進協議会）

（〒894-8501 鹿児島県奄美市名瀬永田町17-3）

イラスト 荒武暁子